

平成 30 年度第 1 回庄原市小学校外国語教育研修会 (小学校外国語パワーアップ事業)

平成 30 年 6 月 22 日 (火) 庄原市立庄原小学校

新学習指導要領を踏まえた小学校外国語の指導方法等について理解を深めるとともに、外国語指導助手 (ALT) 等を活用した実践的な研修を行い、小学校教員の外国語教育に係る指導力及び英語力の向上を図ることを目的に研修会を行いました。

【公開授業】第 5 学年 「What do you like? 友達にインタビューしよう」

授業者 庄原市立庄原小学校 教諭 奥 真理子(パワーアップリーダー), ALT Glendy Soriano



本時の目標: 友達に「What ○○ do you like?」を使ってインタビューをして、クラスの好きなものランキングを作る。
☆指導者と ALT が英語でやり取りをして聞かせる。その後、指導者と児童で英語を使ってやり取りをする。
☆十分に表現に慣れ親しんだところで、児童同士で「What ○○ do you like?」を使って英語のやり取り (スモールトーク) をする。

【研究協議】「主体的な学び、話すこと[やり取り]の充実に向けて」

広島県北部教育事務所 指導主事 宮地 隆治



- 指導者が英語で指示を出したり、指導者の英語をしっかりと聞かせたりすることで、日本語を介さず、英語を英語として聞いて理解する児童を育てていく。
- コミュニケーション能力を高めるために、心と言葉を一致させる指導が重要である。自分が言ってみたいと思うことを表現させていく。

【講義】「新学習指導要領のポイントについて」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥

【演習】「話すこと[やり取り]の指導について」

庄原市立庄原小学校 教諭 奥 真理子(パワーアップリーダー)

【演習】「英語力向上に向けて (Classroom English の活用)」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥, ALT Jesse Noe



【参加者の振り返りより】

- ・単元のゴールが示してあり、児童が自然と話したくなる展開の工夫があり、主体的な学びにつながっていた。
- ・指導者が英語をしっかりと使ってモデルを示し、児童に英語を使いたいと思わせる授業を仕組んでいきたい。
- ・帯タイムで、アルファベットを書く力や英語を聞く力を付けていくことを参考にしたい。
- ・演習を通して第 5・6 学年のスモールトークの違いや、具体的な方法が分かった。自校でもチャレンジしたい。
- ・クラスルームイングリッシュをしっかりと使い、児童が英語を英語として理解できるように慣れ親しませたい。